

学校だより



# ゆめは大きく

尾張旭市西の野町5丁目1番 <https://www.owariasahi.ed.jp/asahi-e/>

尾張旭市立  
旭小学校  
第7号  
令和元年  
11月19日

TEL0561-53-2035

## 「感謝」の気持ち

校長 浅野 謙一

11月9日(土)と11月16日(土)に市の球技大会が開催され、サッカー部・ミニバスケットボール部がそれぞれ試合に臨みました。本当ならサッカー部・ミニバスケットボール部どちらの会場にも行き、旭小学校の子どもたちが頑張る姿を応援したいところでしたが、今年度は、自分が大会役員の立場であり、2日間ともミニバスケットボール部の会場ですべて大会運営に携わっていました。そんな関係で、ミニバスケットボール部の開会式で挨拶をする機会をいただきました。そこで話したことは、「感謝の気持ちをもって試合に臨んでください」でした。試合なので当然、勝ち負けがあります。うれしい気持ちや悔しい気持ちなどいろいろな気持ちがあると思います。しかし、いつも自分のチームメイトを信頼して、感謝の気持ちをもたなければ、チームワークは生まれません。また、対戦する相手にも感謝の気持ちをもたなければ、フェアプレーの精神は生まれません。そして、いつも部活動を指導してくださっている顧問の先生方や大会のために一生懸命審判をしてくださっている先生方に対しても、応援してくださっている保護者の方にも感謝の気持ちをもってくださいとお願いしました。

そのミニバスケットボールの大会でとても感動した場面がありました。大会2日目の女子の旭小学校と城山小学校の準決勝です。この試合は大接戦で、試合終了2分前まで1点差で旭小学校が勝っていました。しかし、残り1分で相手の怒涛の攻撃を受け、旭小学校は大ピンチでした。そんな時、女子の試合を応援していた男子のミニバスケットボール部員から「頑張れ、頑張れ」のエールとともに手拍子が始まりました。すると、その手拍子に合わせて、ベンチにいる女子部員や応援に駆けつけてくれた先生や保護者の方たちも一緒になって手拍子を始めたのです。会場が一体となってコートにいる5人を応援してくれていました。最後は、追いつかれてしまい、延長戦の末負けてしまいましたが、このエールと手拍子がどれだけコートに立つ5人を勇気づけたことでしょうか。まさにこれこそが自分が開会式で話した「感謝の気持ち」の現れではないかと思います。とても清々しい気持ちで大会を終えることができました。



## 雨の中での修学旅行 10/24(木)・25(金)



6年生66名全員が修学旅行に参加し、無事に帰ってきました。見学地は、7か所（法隆寺・奈良公園・清水寺・銀閣・二条城・金閣三十三間堂）とも傘をさしての移動となりましたが、大きな荷物を持って移動するときだけは、傘をささずにすみました。学年の絆がよりいっそう深まりました。

## 小学校球技大会結果

### サッカー部

11月9日(土) 本地原小、白鳳小に惜敗。

### ミニバスケットボール部

男女ともに、準決勝に臨みました。

男子は、11月16日(土) 白鳳小に惜敗  
3位決定戦で、三郷小と対戦し、34対32  
で勝利し、3位となりました。

女子は、11月9日(土) 白鳳小と対戦し、  
30対22で勝利。11月16日(土) 城山  
小、渋川小に惜敗。結果、4位となりました。

## 防災訓練11/17(日)

11月17日(日) 連合自治体の自主防災避難訓練に十数名の児童が参加しました。シェイクアウト訓練、AEDを使った救急救命訓練、三角巾を使った応急手当の仕方、倒壊した家屋からの救出訓練、消火訓練などいろいろなことを地域の方とともに体験し、防災についての意識を高めました。

